

考えてみよう！
多文化共生の学校づくり

監修：山脇 啓造（明治大学国際日本学部 教授）
服部 信雄（横浜市小学校教育研究会「多文化共生・国際教室研究会」顧問
東京学芸大学教職大学院 元特命教授）

ともに支えあい、誰もが安心できる学校づくりへ

2026年6月末現在における在留外国人は428万人を超え、総人口に占める割合は3%を超えています。教育現場においても外国につながる児童生徒は増加しており、日本での生活において様々な不安や困難を抱えている場合が多いものの、そうした課題は認識されにくい場合もあります。またそうした外国につながる子どもと接したことのない学校教員も多く、学校の受け入れ体制も十分に整っていないケースも見られます。

本シリーズは、学校において外国につながる子どもがどんな困難を抱えているかを描きつつ、児童生徒、教職員、学校管理職それぞれの立場において、違いを持つ人同士がどのように関わり合い、つながっていくのかを考えながら、自主的に行動することの大切さを伝えます。誰もが安心して通える学校づくりに向けて、実践的に活用できる映像教材です。

全3巻

対 象 小学校・中学校・高等学校・大学・自治体（人権課等）など

バリアフリー字幕版 選択可

時 間 各巻約15～20分

価 格

《通常版》

DVD 各 巻 45,000円+税
全3巻 135,000円+税

ストリーミング版 全3巻 1年 81,000円+税
3年 162,000円+税

《小・中・高校特別価格版》

DVD 各 巻 22,000円+税
全3巻 66,000円+税

ストリーミング版 全3巻 1年 39,600円+税
3年 79,200円+税

2027年1月発売予定

山脇 啓造

（明治大学国際日本学部 教授）



日本の学校では、外国につながる子どもたちが増え、言語や文化の多様化が進んでいます。多文化共生の学校づくりとは、一人ひとりの違いを尊重し、誰もが安心して学び、成長できる学校をつくることです。そのためには、子どもたちが相手の立場に立って考え、教職員が協力して学校全体で取り組むとともに、地域社会との連携を進めることが重要です。本シリーズは、子どもたちの気づきと関わり、組織的な校内支援、地域との連携と持続的な体制づくりという三つの観点から考える映像教材です。子どもたちが友達との関わり方を考え、教職員が対話を深め、学校と地域が共に多文化共生を進める一助となることを期待しています。

服部 信雄

（横浜市小学校教育研究会「多文化共生・国際教室研究会」顧問
東京学芸大学教職大学院 元特命教授）



今、全校の5割以上が外国につながる子どもたちという小中学校があります。一方で一人も外国につながる子どもが在籍していないという学校もあります。この「映像教材」は一人も外国につながる子どもが在籍していない学校、初めて外国につながる子どもを受け入れる学校だけでなく、外国につながる子どもたちが多数在籍している学校においても活用していただけるものと思っています。それぞれの学校において、子どもたち、先生たち、そして、校長先生や教頭・副校長先生たちが、それぞれの立場で本シリーズを視聴し、語り合い・考え合いながら多文化共生の学校づくりに思いを広げてくださることを願っています。

① 新たな仲間と共に ～関わり方を考えてみよう～

児童生徒向け　450V020S

転入してきた外国につながる児童生徒をめぐり、グループ活動での役割分担がうまくいかない場面や、教師の指示が十分に伝わらない場面、何気なく発した言葉が相手を傷つけてしまう場面など、学校生活の中で起こりうる誤解やすれ違いの具体的な事例を描き、相手の立場に立って考える姿勢など、関わり方の工夫により状況が改善していく過程を示します。

本巻は子どもたちの視点で物語が描かれており、授業で児童生徒たち自身が視聴し、外国につながる他者との関わり方を考えるきっかけを与える構成となっています。



② 校内支援のあり方 ～個人から組織対応へ～

教職員向け　450V021S

外国につながる児童生徒が増加している一方で、その対応が担任教員に大きく委ねられてしまっている場合も多い現状があります。また、そうした子どもたちと接した経験のない学校教員も多くいるでしょう。

本巻では、一人の担任教員に焦点を当て、外国につながる児童生徒への対応・支援のあり方を描きます。担任一人での対応（学習・生活・保護者対応）の限界を可視化するとともに、個人対応から組織対応への転換、役割分担と連携の具体像を示し、児童生徒に関する課題を家庭や生活の背景とあわせて理解する視点を提供します。



③ 地域との連携 ～持続可能な体制づくりに向けて～

管理職向け　450V022S

外国につながる子どもたちを受け入れる体制において、学校間に大きな差が生じる現状があります。学校全体の体制を整えていく際には校長や教頭など学校管理職の役割が重要となります。

本巻では、校内委員会や校内研修の実施、専門人材の活用、教育委員会と連携した不就学対応、地域の国際交流協会やNPO等との連携、管理職の異動時における円滑な引継ぎなど、地域と連携した持続可能な学校支援の体制づくりにおける管理職の役割を具体的に示します。



※制作中のため、タイトル、内容、価格など変更の可能性がございます。

2611SB

●お申し込み・お問い合せは

有限会社 博映商事

【飲酒運転撲滅宣言企業】

TEL 092-741-0306　FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】http://hakuei-shoji.jp　【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp